

Device2Cloud コンテスト 2015 審査基準

■ テーマ:

- ・ アプリケーションのテーマは「クラウドサービスを使ったネットワーク端末・装置」

■ 審査対象、システム条件:

- ・ 以下の要件を満たした組み込みアプリケーション
 - ・ 指定機材上で動作する組み込みアプリケーション。
 - ・ CPU ボード : 以下のいずれかを利用する
 - ・ Armadillo-440 (株式会社アットマークテクノ)
 - ・ Windows Embedded Compact 7, Lilas
 - ・ Linux
 - ・ FEZ Spider (GHI electronics / 株式会社デバイスドライバーズ)
 - ・ .NET Micro Framework / .NET Gadgeteer
 - ・ GR-PEACH (株式会社 若松通商)
 - ・ .NET Micro Framework
 - ・ Intel Edison (インテル株式会社)
 - ・ Linux
 - ・ Raspberry Pi 2 (アールエスコンポーネンツ株式会社)
 - ・ Windows 10 IoT Core
 - ・ Linux
 - ・ センサー : 利用必須。利用するデバイスは任意
 - ・ クラウドサービス : 利用必須。利用するサービスは任意

■ 成果物:

- ・ 予選審査では、以下の二点の成果物の電子メールでの提出が義務付けられます。

◇ 5 ページ以内の開発構想書

- ・ 開発目的、ビジネス構想、システムアーキテクチャ、システムの要求仕様の 4 点を図版など交え、わかりやすい形で簡潔にまとめて作成ください。PDF 形式で提出してください。
 - ・ 開発目的: なぜこの端末が必要なのか? その背景となる理由を記載ください。
 - ・ ビジネス構想: どのようなモデルでアプリケーションを搭載した端末を利用し、どのように収益を上げるのかについて記載ください。
 - ・ システムアーキテクチャ: ハードウェアを拡張している場合はどのようにシステムを追

加したのか、構成図を。また、アプリケーションがどのように外部のシステムとかかわるのか、プロトコルレベルで記載ください。

- ・ システム要求仕様:どのようなサービスがどのようなコンポーネントを用いて提供されるのか、外部のサービスと組み合わせて記載ください。

◇ WMV 形式の動画ファイル

- ・ 端末またはアプリケーションが動作している様子を 5 分以内の動画に収録してください。また、どのような端末またはアプリケーションなのか解説を加えてください。
- ・ 送付先は info@d2c-con.com です

■ 審査方法:

- ・ お送りいただいた成果物を審査員が審査します。
- ・ 審査員の審査結果により決勝進出チームを決定します。
 - ・ 決勝進出チームは最大8チームとします。
 - ・ 決勝進出チームは参加者 ML、ウェブサイト等で告知します。

◆ 予選審査項目

予選審査では、開発構想書とプレゼンテーション動画を審査対象とします。審査項目は、テクノロジー、ビジネスコンセプト、プレゼンテーションで審査します。評価のポイントは以下のとおりです。

◆テクノロジー

・マイコン

①マイコンボードの特徴を活かした実装

特徴：性能、サイズ、消費電力、搭載ペリフェラル、搭載 OS など

・センサー

②センサーの選択と実装・活用

・クラウド

③スケーラビリティの考慮

④ビッグデータの収集

⑤機械学習などの分析

・システム

⑥専用デバイス(≠スマホ・タブレット)との差別化

⑦ボード表示やシステム制御画面の UX

⑧セキュリティ対策

⑨セーフティー対策

◆ビジネス

⑩独創的な発想ができていますか？

⑪ビジネスとしての実現可能性はあるか？

◆プレゼンテーション

⑫事前ビデオで特徴的な部分をアピールできている

・ 決勝大会では、聴衆の前で端末のデモンストレーションを含むプレゼンテーションを実施します。

・ 審査員の審査結果により優勝チームを決定します。

以上